比較政治学Ⅱ

科目ナンバリング　POL-304
選択　　2単位

甲斐　祥子

1. 授業の概要（ねらい）

比較政治学Ⅱでは、比較政治学Ⅰにひき続き、西ヨーロッパの主要国の4国目としてイタリアを取り上げ、さらに、超国家組織であるEUについても取り上げる。さらに、ヨーロッパ政治を理解するために必要な基礎的な概念である、ナショナリズム、エスニシティ、クリーヴィッジ、多数決民主主義と合意形成民主主義、福祉国家、政党、宗教等々について解説をする。

2. 授業の到達目標

①外国の政治に対する関心をさらに深め、自分なりに政治について考え、それを発信することができるようになる。
②就職試験等に役立つであろう、政治に関する広範な知識を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

2回のテストで知識とその定着を確認する。第1回テストと第2回テストの合計点（90%）と、授業への参加姿勢及び貢献度（発言やミニ・アンケートへの回答など、10%）を総合して評価する。テストは必ず受験する必要がある。やむをえない事情で第1回テストを欠席する（あるいは欠席した）場合は、速やかに申し出て教員の指示を受けねばならない。第2回テスト欠席の場合は、追試を受験する。

学期末の第2回テストのみを受験しても合格点には達しないので、就職活動中の学生は特に注意すること。長期欠席者の単位取得は不可能である。

4. 教科書・参考文献

教科書
池谷知明・河崎健・加藤秀治郎編著　『新・西欧比較政治』　北樹出版

5. 準備学修の内容

授業後には、ノートを読み返し、さらにテキストも利用してノートを整理する。授業前には、ノートで前回の内容を確認する。

メディア（テレビ、新聞、雑誌、インターネット等）を通じて積極的に情報を収集し、現実の政治や社会状況を知るように努める。その際、一種類のメディアに偏らずに多くの情報に接する。

様々な本を読み、様々な意見や考え方を知る。

6. その他履修上の注意事項

自らの問題意識を持って授業に参加することを望む。

レジュメの配布等は行わないので、毎回出席してノートをとることが重要であることを理解して受講されたい。テストの日程は変動する場合がある。テストの日程、テスト欠席の場合の措置、その他の連絡事項は、授業内に発表するので、必ず出席をして確認すること。

7. 授業内容

【第1回】　授業ガイダンス、イントロダクション―西ヨーロッパの変動
【第2回】　イタリア1―戦後イタリアの政治
【第3回】　イタリア2―執政府と議会
【第4回】　イタリア3―政党と選挙制度、現代イタリア政治の課題
【第5回】　EU1―EUの制度
【第6回】　EU2―EUの課題
【第7回】　ナショナリズム、エスニシティ
【第8回】　クリーヴィッジ理論、第1回テスト（予定）
【第9回】　多数決民主主義と合意形成民主主義
【第10回】　福祉国家
【第11回】　政党
【第12回】　選挙制度と政党制
【第13回】　宗教と政治
【第14回】　国民投票
【第15回】　秋学期まとめ、第2回テスト（予定）